

# 「平成29年度環境保全に関する取組み」実施報告

平成30年6月  
一般財団法人休暇村協会

## ○休暇村の環境保全に関する基本理念と取組方針（2002年3月制定）

### 《基本理念》

- 休暇村は、自然公園の利用拠点として、多くの皆様に「自然とのふれあい」の機会を提供していきます。
- 休暇村は、豊かな自然を守るため、お客様のご協力を得ながら「環境に配慮した行動」を進めていきます。
- 休暇村は、自然公園の環境保全や地域振興のため、「地域への貢献」に努めていきます。

### 《取組方針》

#### ○自然とのふれあいの推進

- ・休暇村周辺の自然を紹介する自然観察会や学習会、野外でのレクリエーション活動など、多様な自然体験・学習の場を提供します。
- ・自然公園の自然環境や地域の歴史・文化・産業を紹介し、これらを訪ねる小旅行を企画するなど、地域のエコツーリズム推進を図ります。

#### ○環境に配慮した行動

- ・休暇村で使用する営業用の物品は、エコマークその他の環境に配慮した商品を優先し、グリーン購入を進めます。
- ・お客様や取引先のご協力を得ながら、廃棄物の発生抑制とリサイクルを進めます。
- ・エネルギー使用の合理化、省エネ型機器の採用など、光熱水の節減を図ります。
- ・休暇村の建物は、自然公園の景観に調和した形状

色彩とするように心掛けるとともに、環境負荷の少ない設備や、ロングライフ施設の整備に努めます。

#### ○地域への貢献

- ・自然公園管理機関や地元諸団体と連携して、地域の環境保全や観光振興の活動に積極的に参加します。
- ・環境関係団体に活動の場を提供するなど、地域の環境保全活動に協力します。

#### ○取組みの体制整備と公表

- ・各部と連携をとりつつ、環境保全担当部が中心となり、取組みの定期的な点検と改善を進めます。
- ・職員に対する教育研修を継続し、取組みの徹底と環境意識の高揚を図ります。
- ・以上の方針に基づく取組みの状況は、毎年度取りまとめて、公表します。

## ○平成29年度の環境保全に関する取組みの実施内容

### (1) 自然とのふれあいの推進

#### ①自然ふれあい等推進事業の推進

自然の生き物や星空の観察会、野外レクリエーション、朝のお散歩会、地域の歴史・文化・産業にふれあう多彩なプログラムを実施しました。

プログラムの区分	実施回数	参加人数	【実施事例】
朝のお散歩会など自然散策ガイド	6,740回	57,061人	・「雫石語りっこの会」(岩手網張温泉)
休暇村周辺の自然環境の観察や紹介	3,839回	89,655人	・「星空カフェ」(那須)
地域の歴史・文化・産業の体験や紹介	2,278回	27,314人	・「野生の鹿を見に行こう」(茶臼山高原)
クラフト体験やコンサート等のやすらぎイベント	3,703回	40,693人	・「和菓子作り体験」(紀州加太)
合計	16,560回	214,723人	・「ナイトハイク」(吾妻山ロッジ)
			・「藍染体験」(雲仙)

## (2) 環境に配慮した行動

### ①エコチャレンジの取組み

グリーン購入ネットワーク(GPN)に「ホテル・旅館エコチャレンジ・チェックリスト」に準じた各休暇村の取組状況を、5つのカテゴリーについて評価し、改善に取り組みました。

カテゴリー	29年度評価
環境保全への取組姿勢	4.2
食品廃棄物の削減	3.1
その他廃棄物の削減	4.9
省エネルギー・節水	2.1
グリーン購入・化学物質	3.1

※各カテゴリーの数値は、5点満点中の全休暇村の平均値

### ②食品廃棄物の発生抑制とリサイクル

食品リサイクル法に基づき、食品廃棄物等（生ゴミ・廃食用油）については、調理や食事提供方法の改善による発生量の抑制と、リサイクル事業者による飼料や再生燃料などへのリサイクル化に取り組みました。

発生量・実施量など		29年度
食品廃棄物等の発生量	t	852
再生利用等の実施量	t	250
再生利用等の実施率	%	43.4
食品廃棄物等の発生原単位(旅館業)	Kg/人	0.504
〃 (食堂レストラン業)	Kg/百万円	102

※平成19年改正の食品リサイクル法に定める計算方法による

### ③エネルギー使用量の抑制

休暇村で使用する石油・ガス・電気・水の量を把握しながら、業務の効率化に取り組み、省エネ対策のため器具の設置、バックヤードの節電などに努めました。

使用量・原単位・排出量		29年度
石油（重油・軽油・灯油・ガソリン）	KL	6,298
液化石油ガス	t	464
電気（買電）	千Kwh	34,616
原油換算値（使用量合計）	KL	15,629
エネルギー使用に係る原単位	KL/百万円	0.8417
原単位の対前年度比率	%	100.9
二酸化炭素の算定排出量	t-CO2	36,689

※平成26年施行の改正省エネ法に定める計算方法による

## ○平成29年度の社会及び地域への取組み実施内容

### (1) 社会貢献事業

自然公園での事業成果を社会に還元することとし、最終利益額の一部を、自然公園等における自然の保護と利用に有為な活動や研究、人材育成を行う4団体（2学校法人、2公益法人）へ、寄付による支援を行いました。

### (2) 地域貢献事業

各休暇村で、休暇村周辺他での清掃活動や、地域への施設提供等、地域振興関連組織や観光イベントへの参加協力、更に観光資源の開発、地域名産品・推奨品などの利用紹介に努めました。

#### 【実施事例】

#### ○「九州産業大学との連携プロジェクト」(志賀島：福岡県)

九州産業大学生と休暇村の若手スタッフとの間でディスカッションを繰り返しながら、次世代(若年層)をターゲットとした企画を作成実施し、志賀島のPR及び集客へ繋げています。

